

2023年度 日本工学院専門学校											
情報ビジネス科											
ホスピタリティ・マネジメント											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	浅野 聡司・遠藤 麻由			実務経験	有	職種	ホテルスタッフ				
担当教員紹介											
幕張メッセオフィシャルホテルの一つでもある「ホテル ザ・マンハッタン」にて、宿泊部ロビーサービス、宿泊部フロントレセプションなどのサービス職に従事。2019年、日本工学院専門学校 情報ビジネス科の教員として着任。											
授業概要											
コンシェルジュやホスピタリティ人材に求められる、柔軟な行動原理、特に内面的な教育によって心の底からの配慮を学びます。グループワークを多く行うことで、協調性や相手への配慮を育みます。また、プレゼンテーションでは発表内容を重視するだけでなく、発表者、視聴者ともにホスピタリティを発揮することを目的に取り組みます。											
到達目標											
ホスピタリティについて幅広く学び、ホスピタリティ精神を身に付けることを到達目標とします。グループワークやプレゼンテーションを通し、ホスピタリティ業界が求める人材となるよう自ら考え行動することに取り組みます。また、資格としては資格対策科目と合わせ、マナー・プロトコール検定の合格を目指します。											
授業方法											
マナー サービス ホスピタリティの理解と習得 相手に配慮したコミュニケーションの練習としてグループワークを行う プレゼンテーションでは伝え方、聴き方を鍛える											
成績評価方法											
レポート 20% 期末レポートでホスピタリティに関する理解度を確認し評価する 成果発表（口頭・実技） 30% 授業内に行われる発表やプレゼンテーションについて評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、グループワークでの協調性、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、ホスピタリティの体現を目的とし、学生と教員、学生同士のコミュニケーションを重視します。授業に出席するだけでなく、常にホスピタリティを習得しようと心がけ、相手へ配慮をし積極的に参加することを求めます。グループワークでは協調性と自主性の発揮を期待しています。また、授業時間4分の3以上出席しない場合は成績評価ができません。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ホスピタリティの必要性			ホスピタリティの必要性、マナー、サービスとの違いを理解する							
第2回	ホスピタリティとおもてなし			ホスピタリティの由来と歴史を学ぶ							
第3回	日本の事例			日本のおもてなしを歴史から学ぶ							
第4回	世界の事例			世界のホスピタリティについて調べ、グループワークを行い発表する							
第5回	人間関係とホスピタリティ			身近に感じたホスピタリティを発表し、人間関係とホスピタリティの関係性を考える							

2023年度 日本工学院専門学校		
情報ビジネス科		
ホスピタリティ・マネジメント		
第6回	ビジネス社会のホスピタリティ	ビジネス社会の職場での人間関係、お客様との関係について考える
第7回	ホスピタリティ産業	ホスピタリティ産業について調べ、グループワークを行い発表する
第8回	マイナスの人間関係とホスピタリティ	苦情対応の対応方法について考える
第9回	観光資源としてのホスピタリティ	観光で印象に残っていることを発表し、人との出会いについて考える
第10回	行政・自治体のホスピタリティ	市役所を見学し、気付きの共有を行う
第11回	国家間のホスピタリティ	外交の重要性と国際交流について学ぶ
第12回	ホスピタリティの教育	どのようにしたらホスピタリティ教育ができるかを考える
第13回	ホスピタリティを表現する	表情による印象の違いを学び、テーマにあった表現をする
第14回	ネット社会のホスピタリティ	ネット社会の特徴を踏まえ、どのようにホスピタリティを表現するかグループワークを
第15回	課題と対策	社会の変化や国際化、日本らしさは残せるかをテーマに課題と対策を考える